# 総合研究のテーマの変遷

松　本　章　代

## 1.　学科別にみる総合研究のテーマ（2008 年度～2017 年度）

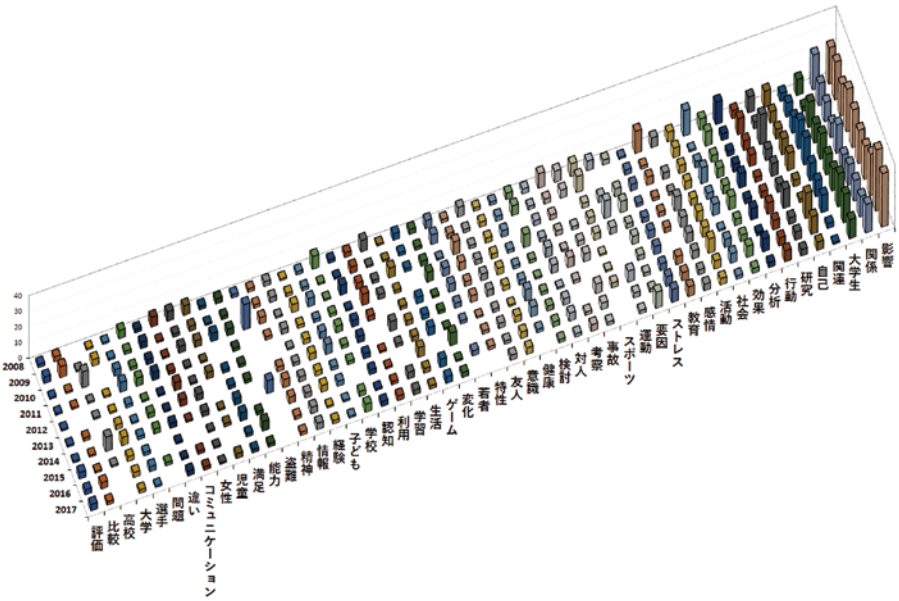


図 1：人間科学科

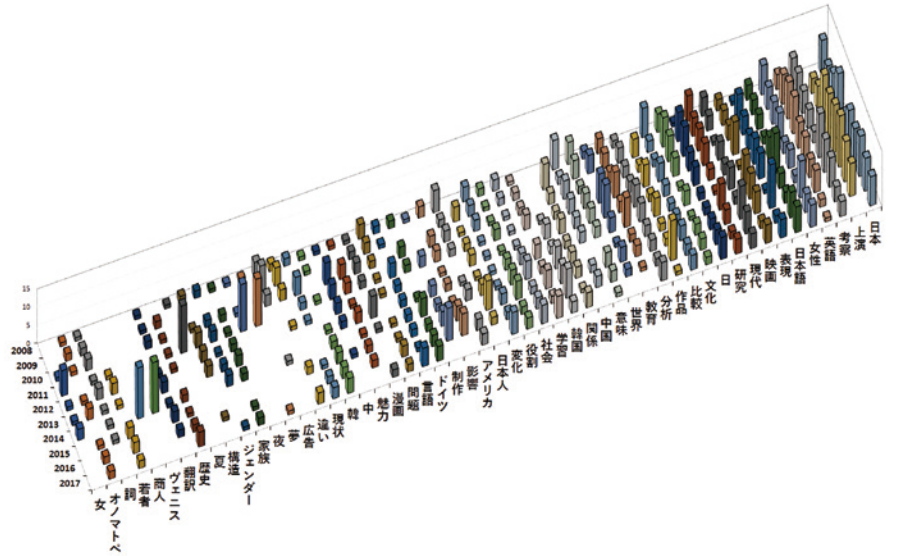


図 2：言語文化学科

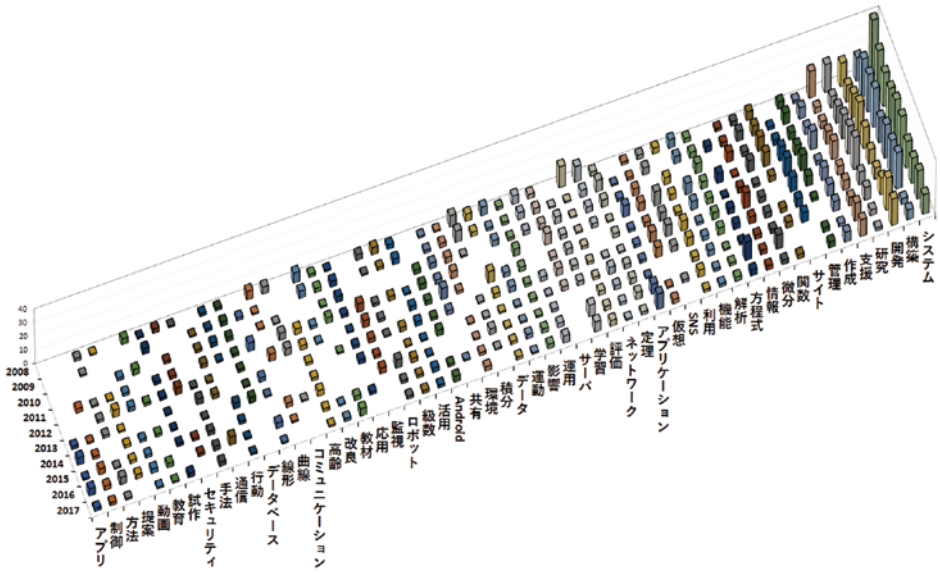


図 3：情報科学科

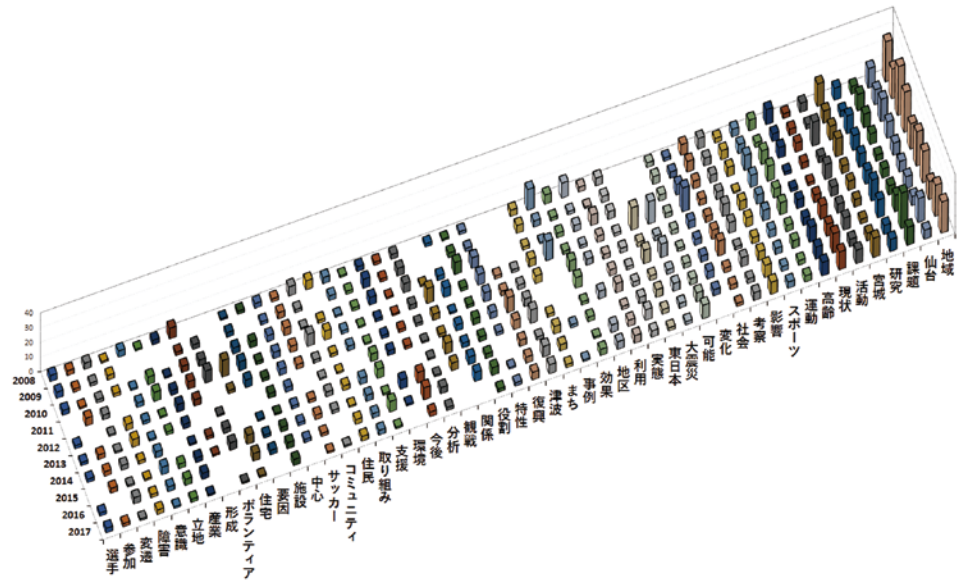


図 4：地域構想学科

解析手法：

総合研究のテーマに対して MeCab を用いて形態素解析をおこない，10 年間分の合計頻度が高い 50 位までの語を，学生が所属する学科ごとに求め，それぞれグラフを作成した。なお，抽出対象から特定の品詞（動詞，助動詞，助詞，数，記号，接尾辞，その他非自立のもの）に該当する語は除いている。

## 2.　総合研究のテーマから見える教養学部の学際性（教養学部 1 期生＋ 2008 年度～2017 年度）

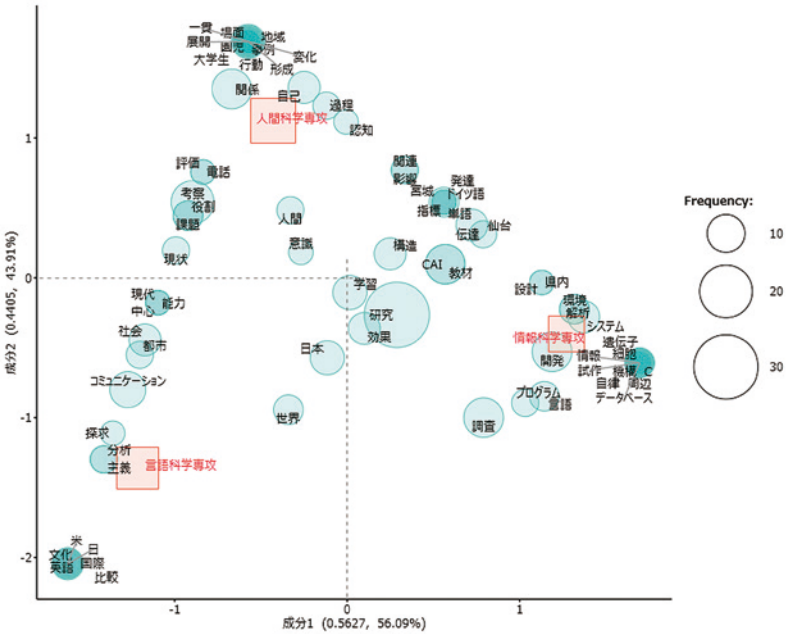


図 5：教養学部 1 期生（1992 年度）

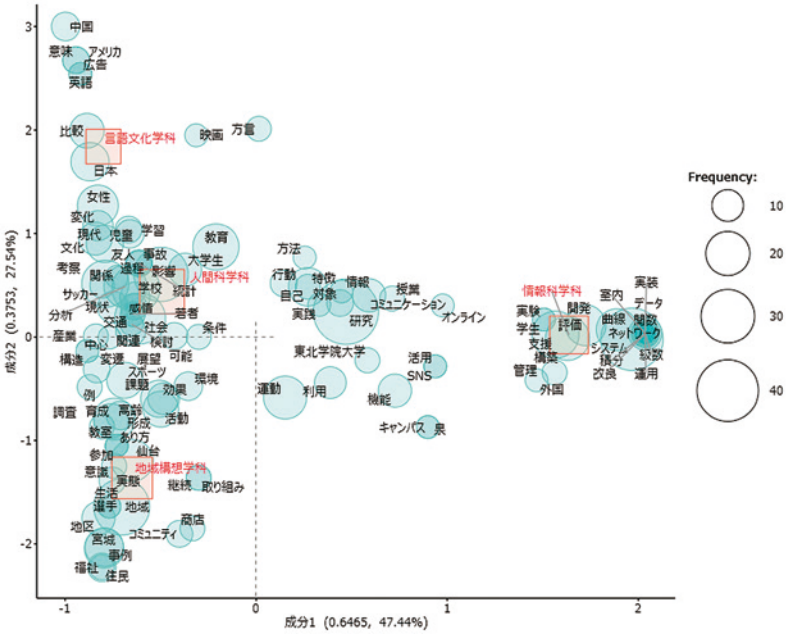


図 6：2008 年度

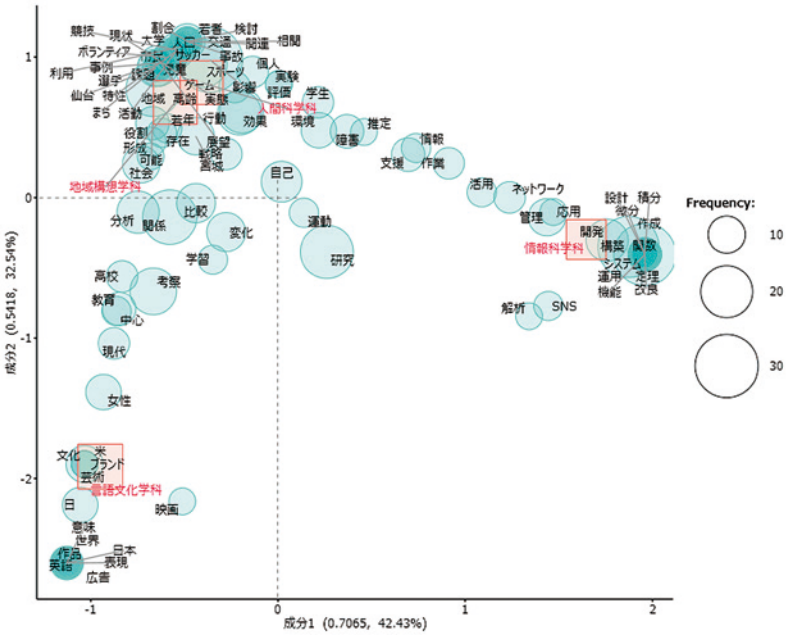


図 7：2009 年度

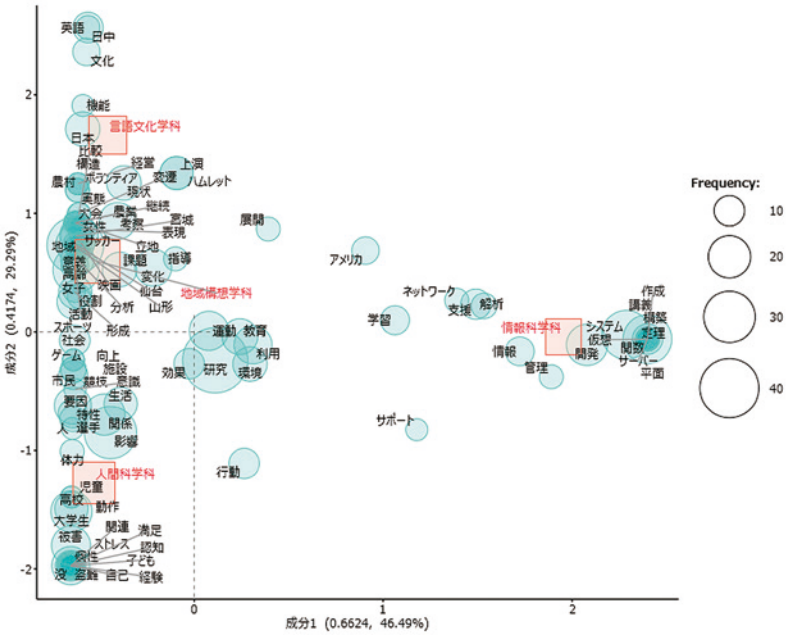


図 8：2010 年度

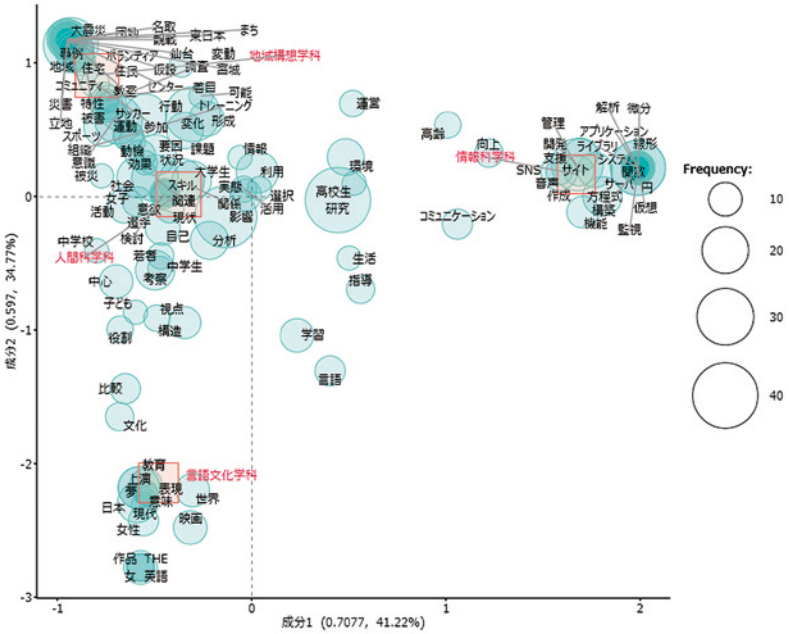


図 9：2011 年度

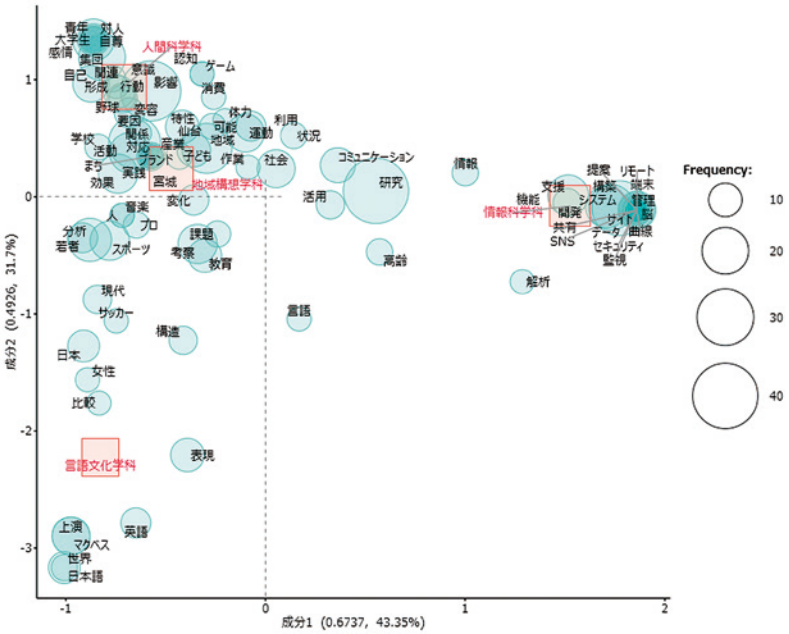


図 10：2012 年度

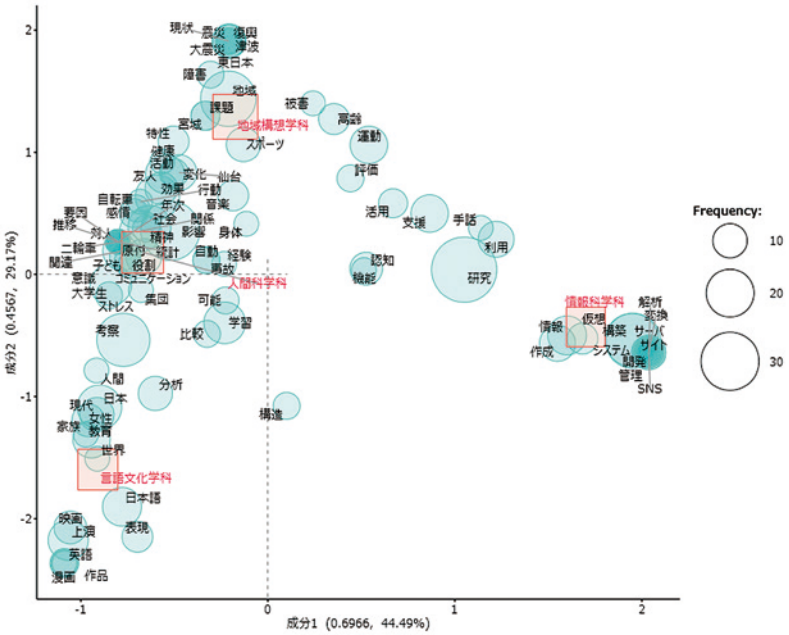


図 11：2013 年度

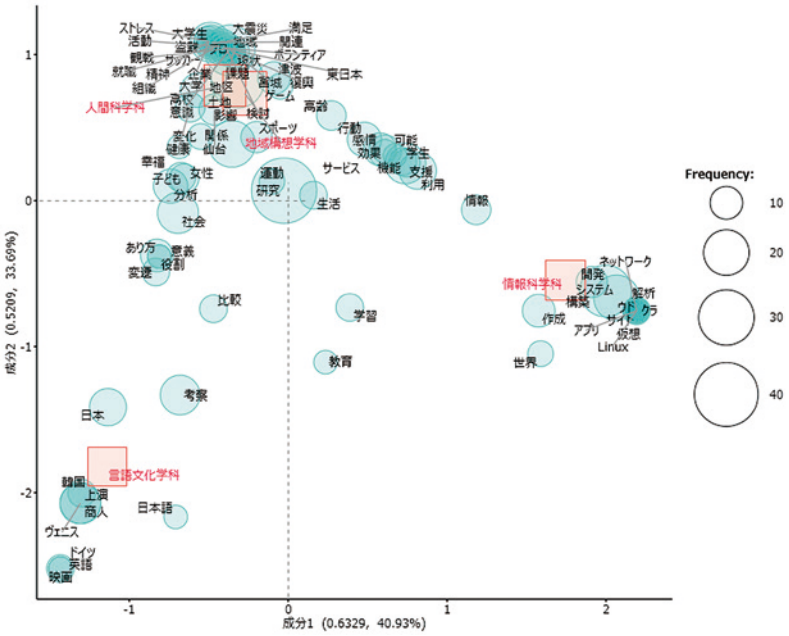


図 12：2014 年度

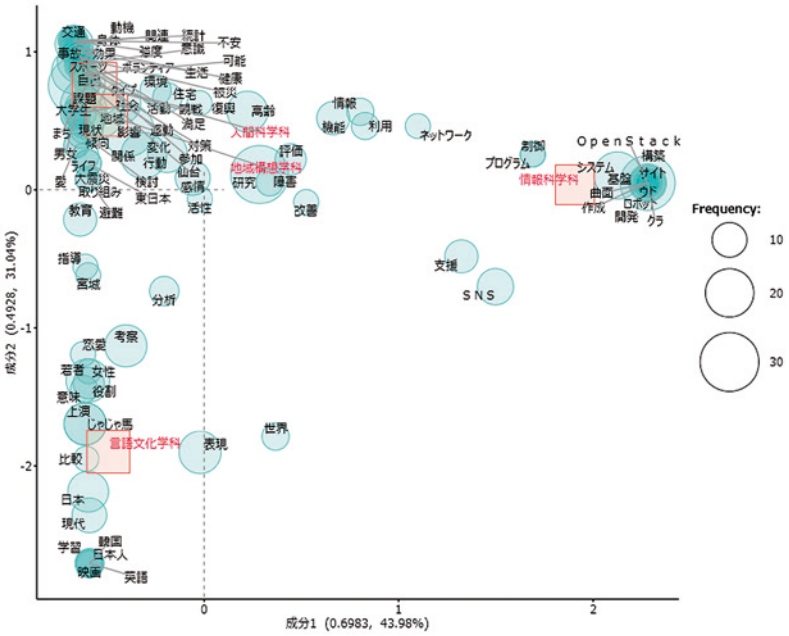


図 13：2015 年度

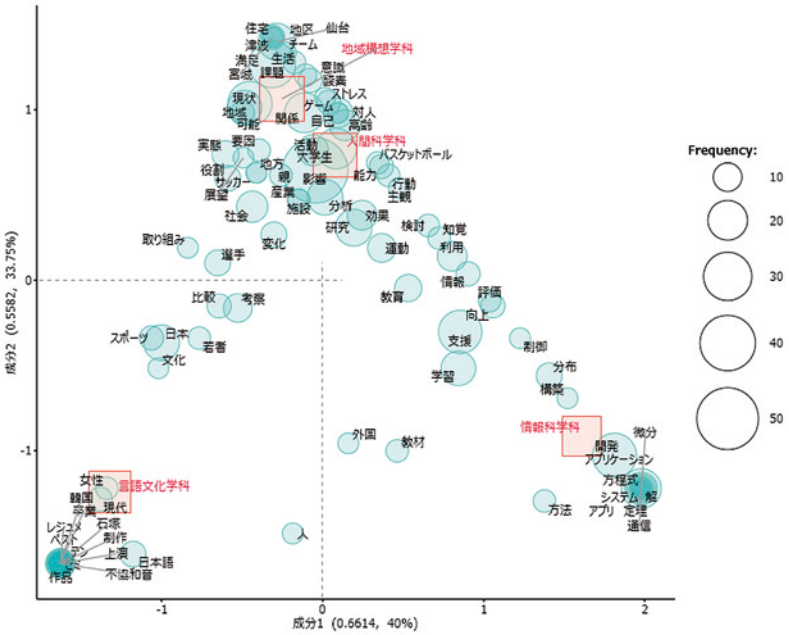


図 14：2016 年度

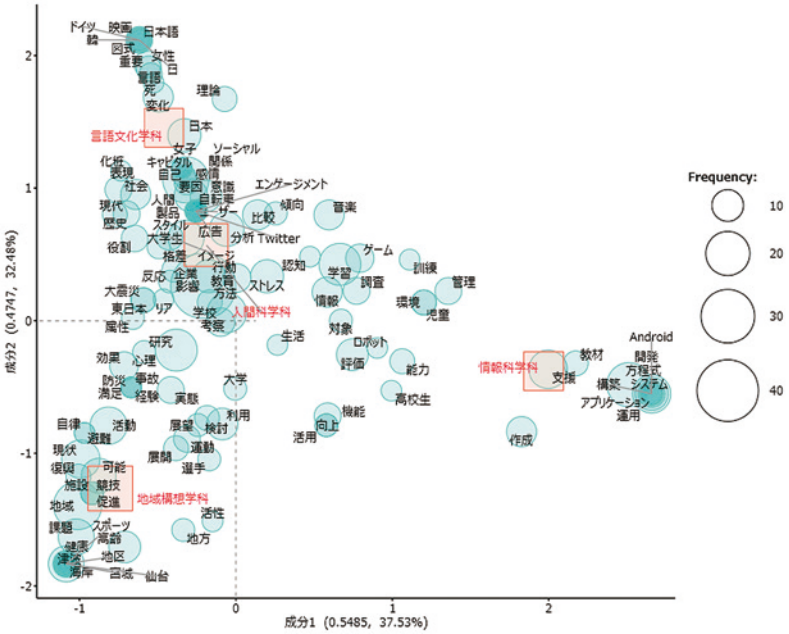


図 15：2017 年度

解析手法：

年度ごとに，総合研究のテーマを学生が所属する学科で分類し，KH Coder を用いて対応分析をおこなった。抽出対象とした品詞は，名詞・サ変名詞・形容動詞・固有名詞・組織名・人名・地名・未知語・名詞 B・名詞 C である。

経歴

静岡県三島市出身。静岡大学大学院理工学研究科システム科学専攻博士後期課程修了。博士（情報学）。東京工業高等専門学校情報工学科助手，青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科助手・助教を経て，2010 年東北学院大学教養学部情報科学科講師，2015 年同准教授，現在に至る。自然言語処理，知的教育システム等に興味を持つ。